

担がん患者におけるがん免疫微小環境と宿主免疫応答の解析

【2010年5月12日から2015年3月31日までに当院を受診し、当科で行われた「がん抗原の同定と宿主免疫応答の解析」の研究に参加された患者さんへ】

当教室では、川崎医科大学・附属病院倫理委員会の承認を得て2010年5月12日から2015年3月31日まで「がん抗原の同定と宿主免疫応答の解析」という研究を施行してきました。この研究に参加され、他の研究に検体を使用することに同意された患者さんを対象に、採取した試料を用いて新たな研究「担がん患者におけるがん免疫微小環境と宿主免疫応答の解析」を行い新規免疫療法の開発を試みます。個人が特定できる情報は収集しません。

新たに人体試料を採取することはなく、既存試料を用いて研究を行います。また仮に新たな試料（血液や組織検体）を採取する場合には、「担がん患者におけるがん免疫微小環境と宿主免疫応答の解析」の研究内容をご説明させていただき同意された患者さんにおいて試料の採取を行います。

研究を遂行するにあたり必要な資金をスポンサー（製薬企業）から提供してもらうことによりその結果の判断に利害が発生し、結果の判断にはずみが起こりかねない状態を利益相反状態といますが、「担がん患者におけるがん免疫微小環境と宿主免疫応答の解析」の研究は、呼吸器内科学教室費、主任・分担研究者の教員研究費や科研費（文部科学省「次世代がん研究戦略推進プロジェクト次世代がん研究シーズ戦力的育成プログラム：効果的な複合免疫療法の確立 研究代表者 中山睿一」、文部科学省「肺腺癌に特異的に発現するXAGE1 抗原と血清抗体を指標とした免疫療法の特許開発 研究代表者 岡三喜男」、文部科学省「肺癌局所の免疫微小環境における免疫抑制因子の同定とその制御 研究代表者 大植祥弘」、文部科学省「肺癌における腫瘍浸潤制御性T細胞が関与する癌微小環境の同定 研究代表者 黒瀬浩史」）を用いて実施しています。この研究課題を実施する関係者には、日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社、アステラス製薬株式会社、中外製薬株式会社、MSD株式会社、協和発酵キリン株式会社、グラクソ・スミスクライン株式会社、アストラゼネカ株式会社、第一三共株式会社、大塚製薬株式会社、大鵬薬品工業株式会社、Meiji Seika ファルマ株式会社より奨学寄附金の受け入れがありますが、利益相反委員会にこの内容を申告し、適正に管理されています。なお、これらの企業は、本研究課題には直接関係はない企業です。本研究に関してご質問のある方、同意いただけない方は下記までご連絡くださいますようお願いいたします。

問い合わせ先： 呼吸器内科 大植祥弘
電子メール： resp@kawasaki-m.ac.jp
TEL: 086-462-1111 内線 25520